

受付番号

2022-33

許可番号

大歯医倫 第 111239-0 号

研究課題名

思春期の子どもの家庭環境と健康に関する研究

研究責任者

橋本 正則

申請者

中山 真理

研究終了日

2024 年 3 月 31 日

所属

医療保健学部口腔保健学科

所属

医療保健学研究科

口腔科学専攻

職名

教授

職名

後期課程 2 年生

申請の概要

青年前期にあたる思春期は、身体的な変化に加えて考え方や行動にも変化が起り、心理的な発達段階としても重要な時期と考えられている。中学生になると朝食欠食率やお菓子を食べ続けることがよくある者の増加が報告されており、また、自己評価の低い中学生では、問題行動の予兆がみられることが指摘されている。さらには、海外の研究では、12 歳以後より急激にう蝕が増加し始めることが示されている。

このように、身体とところが不安定な時期には、その後の人生における健康を脅かすリスクが生じやすいことから、子どもから大人への過渡期を下支えする健康支援は重要である。しかし、思春期の子どもと家庭の状況を対象とした研究においては、家庭の収入や養育者の教育水準のほか、健康を左右する環境や、日常生活に必要な物の所有等の物質的な要因、食生活や身体活動の要因、心理・社会的な要因との関連を検討した報告例は少ない。

本研究の目的は、A 自治体を実施した子どもの生活に関する調査の既存資料のうち、思春期にあたる中学 2 年生の個票データを用い

---

て、う蝕を含む身体の健康、生活習慣、こころの状態を子どもの育つ家庭の状況養育者との関係、学校生活の状況を把握し、さらにそれらの関連を検討することである。